

知事 vs 県議会

健全な緊張感がここにある



ワクチン接種を要件にすれば、持病等で接種できない人への差別に。修正を。

指摘のとおり、ワクチンを打てない方々への配慮は肝に銘じたい。



県民向けの宿泊補助事業「愛郷ぐんま」事業対象をワクチン接種済者等に限定するという知事提案を議会が問題視。

異例の付帯決議を付すなど、知事に再考を促した結果、県民誰でも補助を受けられる制度に修正されました。

健全な二元代表制が機能しています。

10月9日土毛新聞記事抜粋

「愛郷ぐんま」で県調整
2回接種、陰性証明
なくても3000円補助

県が10月1日開始の宿泊
支援事業「愛郷ぐんま」
に追加した県民1人1泊
5千円を補助する制度。県
は対象者を11月運用開始
の一風防ワクチンパス(仮
称)にワクチン接種券の
接種済者への接種を明
で承認するPCR検査陰
性証明が提示できる人
としていた。
県議会から接種の有無に
関係なく一律補助する
方向で調整が進められて
いる。

環境・エネルギー

長年の提言が次々に具現化

11月10日土毛新聞記事抜粋

温室ガス削減へ県検討

2050年までの温室効果ガス排出量ゼロや災害時停電ゼロの実現を目標に掲げる県が、新築や増改築する一定規模以上の建築物を対象に太陽光発電設備などの設置を義務付ける規定を盛り込んだ条例を制定する方向で検討していることが、分かった。再生可能エネルギーの導入促進が狙いで、来年2月開会予定の県議会第1回定例会に進が狙いで、来年2月開会予定の議決や周知期間を経て条例案を提出する方針。議会での議決や周知期間を経て来年度中の施行を目指す。全国で同様に条例で設置を義務付けているのは京都府と京都市のみで、本県でも義務化されれば都道府県では2例目となる。

2月議会に条例案

太陽光発電を義務化 2000平方メートル以上の新築、増築

板倉ニュータウン

再エネ水素化し貯蔵 電気に戻して住宅供給



県企業局が実証実験

9月28日土毛新聞記事抜粋

先進地を自ら調査し、積極的に提言してきた環境・エネルギー政策が大きく動き出しています。

温暖化対策では、議員提案条例を視野に特別委員会を立ち上げましたが、県執行部側がこれに呼応。先進的な条例案の制定に向け議論を進めています。

昨年の一般質問で提言した、水素と太陽光発電による地域マイクログリッドについては、板倉ニュータウンで実証実験を開始します。



山梨県の水素実証実験を調査し提言しました

新・リベラル群馬
として知事へ
政策提言しました。



昨年の補欠選挙で当選した鈴木敦子さんを迎え、新たにスタートしたリベラル群馬。行財政改革や公共投資のあり方の転換を求めるこれまでの姿勢に加え、女性の目線から弱者や行きづらさを感じている人々に寄り添う提言を議会で積極的に行っています。また、動画スタジオやぐんまちゃんアニメなど、知事肝いり施策のチェック・検証も怠りません。



改善しました

第一病院北の交差点(下小鳥町)地域より舗装が傷んでいるという苦情をいただき、県に要望をしていました。